

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 左室サイズ・体格とQRS幅の関係に関する検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科科 (研究責任者)池谷 之利 多施設共同研究:共同研究機関名 Cleveland clinic 研究責任者 Niraj Varma</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 心不全に対する心臓再同期療法というペースメーカ治療は心室内伝導障害のある患者さんに有効であり、その適応基準として心電図QRS時間≥ 120msとされていますが、欧米ではQRS≥ 130msの基準が使用されています。日本人は欧米人に比し体型が小さいため、心室内の伝導時間が欧米人のそれより短い可能性があり、この基準の違いの妥当性を示すデータ収集を目的とします。 本研究では、日本人のQRS時間を調査し、男女差および欧米人との差をみることで、体型によるQRS時間に違いがあるかどうかを確認したいと考えています。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> これまでに、当院で施行した心電図と心エコー図、心臓MRIにて得られた情報を使用させていただき、身長、体重、心臓の大きさ、心電図QRS時間を男女、人種間で比較し、また身長、体重、心臓の大きさがQRS時間と相関があるかについて検討します。(※QRSとは心室が興奮した際に発せられる電気で、心電図で波形として記録されます。)</p> <p><外部への試料・情報の提供等> 共同研究機関とデータを共有する場合、データは匿名化して取り扱い扱われます。</p>
<p><対象となる患者さん> 2013年1月1日から2018年4月30日の期間に、日本大学医学部附属板橋病院循環器内科において心疾患に対して心臓MRIが施行され、同時期の心電図検査を施行している18歳以上の患者さん。</p>
<p><研究の方法> 既に施行された心電図検査、心エコー図・心臓MRI検査からデータを取得し、男女差、人種による差異、それぞれのデータ間の相関について検討します。 ★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<問い合わせ 窓口>までご連絡ください。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 循環器内科 氏名: 池谷 之利 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8056</p>